

ons of the turtle. 14th Ann. Meeting of Society for Neuroscience, 1984, 10, Anaheim.

9) 山崎弘美, 西口慶子, 宮元玲子, 中西顯夫: マウス障害肝のアルコール脱水素酵素およびアルデヒド脱水素酵素 isozyme profile についての研究. 第35回日本薬理学会北部会, 1984, 10, 新潟.

10) 百瀬弥寿徳, 武田龍司: カエル心房筋単一細胞の膜電流に及ぼすエタノールの作用. 第35回日本薬理学会北部会, 1984, 10, 新潟.

保 健 医 学

教 授 渡 辺 正 男
助 教 授 鏡 森 定 信
助 手 濱 田 仁
助 手 成 瀬 優 知

◆ 原 著

1) Kagamimori S., Takata M., Naruse Y., Watanabe M., Miyamoto N., and Okada A: Heritability of erythrocyte Na^+ - Li^+ countertransport in relation to essential hypertension. Clin. and Exper. Hypertension. A6(5): 951—960, 1984.

2) Kagamimori S., Watanabe M., Kubota M., Okada A., Yokoyama K. and Nobutomo K.: Serum interferon levels and natural killer cell activity in patients with asbestosis. Thorax 39: 65—66, 1984.

3) 渡辺正男, 鏡森定信, 成瀬優知, 海野広道, 柏樹悦郎, 大島 直, 岡田和彦, 神原勝美, 葛野洋一, 新家悦朗, 増田千加子, 吉村葉子, 大浦栄次: 農薬の慢性生体影響に関する疫学的調査. 富山県農村医学研究会誌, 15: 124—129, 1984.

4) 鏡森定信, 新開純子, 成瀬優知, 渡辺正男, 加藤輝隆, 河野昭一: 大気汚染健康調査対照地区における過敏性素因学童の10年間の呼吸器症状の推移と関連要因の検討, 北陸公衛誌 11: 7—14, 1984.

5) 鏡森定信, 成瀬優知, 渡辺正男: イタイイタイ病要観察者の血圧の現状とこれまでの推移, 環境保健レポート. No. 50: 176—181, 1984.

6) 石田礼二, 渡辺正男, 北川鉄人, 大浦栄次: 富山県下公的病院の肝疾患患者調査(第2報). 富山県農村医学研究会誌, 15: 9—12, 1984.

7) 窪田道男, 鏡森定信, 岡田 晃, 横山邦彦: じん肺症におけるインターフェロンおよび β_2 -マイクログロブリン値. 産業医学 25: 516—517, 1984.

8) 窪田道男, 岡田 晃, 鏡森定信, 横山邦彦: 石綿肺症におけるNK細胞, インターフェロンの相互応答性に関する研究. 日衛誌, 39: 633—639, 1984.

9) 広瀬三智子, 鏡森定信, 牧野哲也, 藤田孝子, 渡辺正男: 染色体損傷スクリーニングとしての姉妹染色分体交換検査における Comparability の検討. 北公衛誌, 11: 33—40, 1984.

10) 入部美則, 鏡森定信, 濱田 仁, 城野 晃, 永原良美, 中川秀幸: 第二性徴期の女子学童の血清フェリチン—潜在性鉄欠乏に関する5年間の追跡調査—北公衛誌, 11: 71—77, 1984.

11) 松本トシ子, 村本玲子, 前田由美子, 滝田恵子, 水木七美子, 若尾満枝, 鏡森定信, 中川秀昭, 奥村義治, 河野俊一: 小矢部保健所管内における脳卒中の死亡率, 発生率および有病率, 北公衛誌, 11: 54—61, 1984.

12) 島浦邦子, 中尾久子, 中森文子, 阿部八代江, 中町澄子, 中川秀幸, 村上慶子, 酒井瑠美子, 桑守豊美, 成瀬優知: 早朝尿分析による食塩摂取状況の現状. 富山県農村医学研究会誌, 15: 146—151, 1984.

◆ 学会報告

1) Kagamimori S., Naruse Y., Watanabe M., Minowa M. and Iibuchi Y.: A comparison of mortality differences in farmers and fishermen between Japan and Wales. 12th International Biometric Conference, 1984, 9, Tokyo.

2) Iibuchi Y., Kasagi K., Kagamimori S. and Hayashi C.: A comparative observation of controversy regarding statistics in 19th Century Japan and the beginnings of statistical concept in mediaeval Japan. 12th International Biometric Conference, 1984, 9, Tokyo.

3) Kagamimori S., Watanabe M., Kubota M., Okada A. and Yokoyama K.: Insensitivity to interferon and interleukin—2 of natural killer cells from patients with asbestosis. 21st International Congress on Occupational Health, 1984, 9, Dublin.

4) Kubota M., Kagamimori S., and Okada A.: Natural killer cell and serum interferon in patients with asbestosis. 21st International Congress on Occupational Health, 1984, 9, Dublin.

5) Ohyagi S., Hillerdal G., Saito N., Kagamimori S., Hosoda Y., Shishido S. and Iwai K.: Study on prevalence of pleural Plaque in

miniature X-ray films in Japan and Sweden, 21st International Congress on Occupational Health, 1984, 9, Dublin.

6) Nakagawa H., Kawano S., Okumura Y., Tsujikawa K. and Kagamimori S.: Mortality and relevant factors of cerebro-cardiovascular diseases among Japanese rural inhabitants, 9th International Congress of Agricultural Medicine and Rural Health, 1984, 9, Newzealand.

7) 渡辺正男, 鏡森定信, 成瀬優知, 西野治身, 新村哲夫: イタイイタイ病要観察者における血圧の推移とその関連要因. 第43回日本公衆衛生学会総会, 1984, 10/11, 大阪.

8) 鏡森定信, 成瀬優知, 渡辺正男: 本態性高血圧の遺伝マーカーとされる赤血球 Li^+ , Na^+ および K^+ 移送に対する遺伝的制御: 遺伝的素因と環境 (4). 第54回日本衛生学会総会, 1984, 4, 鳥取.

9) 鏡森定信, 成瀬優知, 渡辺正男, 中川秀昭, 河野俊一: 循環器疾患の Risk Factor に関する研究 (第6報) —赤血球陽イオン移送とその関連要因—. 第43回日本公衆衛生学会総会, 1984, 10/11, 大阪.

10) 中川秀昭, 奥村義治, 河野俊一, 水木七美子, 滝田恵子, 前田由美子, 村本玲子, 松本トシ子, 若尾満枝, 鏡森定信: 小矢部保健所管内における脳卒中予防活動 (第5報) 脳卒中発生率の推移 (昭和52年—57年) 第43回日本公衆衛生学会総会, 1984, 10/11, 大阪.

11) 滝田恵子, 水木七美子, 前田由美子, 村本玲子, 松本トシ子, 若尾満枝, 鏡森定信, 奥村義治, 中川秀昭, 河野俊一: 小矢部保健所管内における脳卒中予防活動 (第6報) 寝たきり患者の実態調査成績. 第43回日本公衆衛生学会総会, 1984, 10/11, 大阪.

12) 窪田道男, 鏡森定信, 岡田 晃: 石綿肺症におけるリンパ球系細胞機能とインターフェロン応答について. 第57回日本産業衛生学会, 1984, 6, 札幌.

13) 大八木重郎, 斉藤宣照, 細田 裕, 鏡森定信: 日本・スウェーデン両国における住民検診間接X線フィルム上の胸膜プラーク所見に関する交換読影成績 (第1報) 第59回日本産業衛生学会, 1984, 6, 札幌.

14) 牧野哲也, 岩 喬, 麻柄達夫, 成瀬優知, 鏡森定信, 渡辺正男: 先天性心疾患児における DNA 複製機構に関する検討. 第20回日本小児循環器学会, 1984, 6, 愛媛.

15) 牧野哲也, 麻柄達夫, 岩 喬, 岡田 晃, 成

瀬優知, 鏡森定信, 渡辺正男: 先天性心疾患児及びその母親の S・C・E 頻度について. 第24回日本先天異常学会学術集会, 1984, 7, 東京.

16) 牧野哲也, 岡田 晃, 岩 喬, 藤田孝子, 鏡森定信, 渡辺正男, 館野政也: 女性を対象とした姉妹染色分体交換の検討. 北陸先天異常研究会第5回学術集会, 1984, 12, 金沢.

17) 藤田孝子, 鏡森定信, 渡辺正男: アクリジンオレンジ染色を用いた経胎盤小核試験の試み. 北陸先天異常研究会第5回学術集会, 1984, 12, 金沢.

18) 本田幸子, 林美貴子, 鏡森定信, 藤田孝子, 渡辺正男: 突然変異原物質によるマウス末梢血小核試験. 第24回日本先天異常学会学術集会, 1984, 7, 東京.

19) 濱田 仁: 富栄養性と腐水性の河川における関係—指標生物としてのミカヅキモ—. 陸水生物学談話会, 1984, 6, 大津.

20) 西野治身, 城石和子, 成瀬優知, 鏡森定信, 渡辺正男: イタイイタイ病患者と要観察者における尿・血清中シトルリンについて. 第54回日本衛生学会総会, 1984, 4, 鳥取.

21) 西野治身, 城石和子, 鏡森定信, 成瀬優知, 渡辺正男: イタイイタイ病患者と要観察者における尿, 血清中ヒスチジンについて. 第43回日本公衆衛生学会総会, 1984, 10/11, 大阪.

22) 近藤力王至, 赤尾信明, 小西喜彦, 岡本敬, 吉村裕之, 鏡森定信, 安藤勝彦: 犬蛔虫幼虫移行症の免疫疫学的研究(1). 第39回日本衛生動物学会, 第40回日本寄生虫学会西日本支部合同大会, 1984, 10, 津市.

23) 加藤輝隆, 加須屋実, 鏡森定信, 成瀬優知, 河野昭一: 樹木の育成状況を指標とする大気環境の評価と学童の呼吸器症状有病率との関連. 第43回日本公衆衛生学会, 1984, 10/11, 大阪.

◆ その他

1) 成瀬優知, 鏡森定信, 渡辺正男, 鈴木祐恵, 藤岡忠治, 蒔 正三: 耐糖能異常者175名の7年間追跡調査—耐糖能および関連検査項目の推移の検討—. 公衆衛生, 48 (4): 284—292, 1984.

2) 鏡森定信: 学童期の血圧とその関連要因—高血圧対策の視点—. 予防医学 (第26号), 52—56, 1984 (神奈川県予防医学協会発行).

3) 公衆衛生学教室・保健医学教室編: 昭和59年度社会医学実習報告書. 第5集, 1984.

4) 渡辺正男: インターフェロンと免疫. 昭和59年度日医医学講座. 昭和59年7月15日. 富山県医師会館.

5) 鏡森定信：高血圧の疫学とその遺伝生化学的指標。第5回富山医科薬科大学医学会学術集会シンポジウム「高血圧の病態に関する基礎と臨床」1984, 12, 富山。

公衆衛生学

教 授	加須屋	実
助 授	寺 西	秀 豊
助 手	青 島	恵 子
助 手	加 藤	輝 隆
文部事務官	蓑 島	彰 子

◆ 著 書

1) 加須屋 実：産業保健 (III)。「衛生・公衆衛生」和田 攻編, 369—391, メジカルビュー社, 1984.

◆ 原 著

1) 神谷 哲, 引間昭夫, 寺西秀豊, 五十嵐隆夫, 加須屋 実：富山県における川崎病流行に関する研究。公衆衛生 48 : 377—381, 1984.

2) 青島恵子, 寺西秀豊, 加須屋 実, 萩野 昇：最近の2症例からみたイタイイタイ病の発症機転と病態 とくにビタミンD代謝について。日本内科学会雑誌 73 : 838—848, 1984.

3) 鏡森定信, 新開純子, 成瀬優知, 渡辺正男, 加藤輝隆, 河野昭一：大気汚染健康調査対照地区における過敏性素因学童の10年間の呼吸器症状の推移と関連要因の検討。北陸公衛誌 11 : 7—14, 1984.

4) 寺西秀豊, 福田京子, 青島恵子, 加藤輝隆, 窪田裕子, 田中旨子, 加須屋 実, 五十嵐隆夫, 荒川 良：喘息児家屋内ダニ相のプレパラートトラップ法による観察。北陸公衛誌 11 : 15—20, 1984.

5) 加須屋 実, 寺西秀豊, 青島恵子, 加藤輝隆, 窪田裕子, 田中旨子, 中野昌俊, 加藤孝之：イタイイタイ病患者の尿中トレハラーゼ活性の上昇とその意義。環境保健レポート No50 : 161—169, 1984.

6) 加須屋 実, 寺西秀豊, 青島恵子, 加藤輝隆, 窪田裕子, 田中旨子, 萩野 昇：最近イタイイタイ病と診断した2症例について。環境保健レポート No50 : 170—175, 1984.

7) 河野昭一, 中山修一, 加須屋 実, 加藤輝隆, 橋本竹二郎, 鏡森定信, 成瀬優知, 岡田 晃：昭和58年度 芦原町の自然環境および住民の健康調査報告書 (昭和47年以降12年間の調査結果の総括), 1984.

8) 荒川 良, 上村 清, 五十嵐隆夫, 寺西秀豊：昆虫・ダニアレルギー症対策に関する基礎的研究——特に畳内に生息するダニ相について——。家屋害虫 No21, 22 : 48—57, 1984.

◆ 総 説

1) 加須屋 実：環境毒性学③ カドミウム。廃棄物処理研究 10 : 32—52, 1984.

◆ 学会報告

1) 加藤輝隆, 青島恵子, 窪田裕子, 田中旨子, 寺西秀豊, 加須屋 実：フレームレス原子吸光法による血中, 尿中重金属測定のための簡易前処理法—低温灰化, キレート樹脂の利用について。第54回日本衛生学会総会, 1984, 4, 米子。

2) 青島恵子, 窪田裕子, 田中旨子, 加藤輝隆, 寺西秀豊, 加須屋 実：富山県神通川流域カドミウム汚染地区住民の腎障害に関する疫学的研究 (第2報)。第54回日本衛生学会総会, 1984, 4, 米子。

3) 田中旨子, 百谷 泉, 寺西秀豊, 加須屋 実：日雇い労働者にみられた胸膜中皮腫の1例。第57回日本産業衛生学会, 1984, 6, 札幌。

4) 青島恵子, 加藤輝隆, 寺西秀豊, 加須屋 実, 萩野 昇：50 g OGTT によるイタイイタイ病患者の耐糖能の検討。第57回日本産業衛生学会, 1984, 6, 札幌。

5) 寺西秀豊, 窪田裕子, 田中旨子, 青島恵子, 加藤輝隆, 加須屋 実：ナシ果樹園作業者の花粉症に関する研究 I。人工授粉作業時の呼吸機能検査。第57回日本産業衛生学会, 1984, 6, 札幌。

6) 加須屋 実：被害者救済をめぐる諸問題。第25回社会医学研究会総会, 1984, 7, 富山。

7) 青島恵子：富山県神通川流域カドミウム汚染地域住民の健康被害救済の現状と問題。第25回社会医学研究会総会, 1984, 7, 富山。

8) 窪田裕子, 寺西秀豊, 加藤輝隆, 青島恵子, 田中旨子, 加須屋 実：富山県神通川流域のカドミウムによる健康被害の実態。第25回社会医学研究会総会, 1984, 7, 富山。

9) 寺西秀豊, 青島恵子, 加藤輝隆, 窪田裕子, 田中旨子, 加須屋 実：果樹栽培にともなう花粉症多発の背景に関する一考察。第25回社会医学研究会総会, 1984, 7, 富山。

10) Aoshima K., Kasuya M., Teranishi H., Kato T., Kubota Y. and Tanaka M. : Study on pharmacological therapy of Itai-itai disease : Cadmium-induced renal tubular osteomalacia. XVIIth International Congress of Internal Medicine, 1984, 10, Kyoto.